

2019年度 第1四半期 決算のご説明

(2019年4月1日～2019年6月30日)

米中貿易摩擦に主要カーメーカーの減産が重なり、低水準
成長軌道に乗せ直す転換点づくりに取り組み中

2019年7月30日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

Value by Connecting **HTK**



1. 19/1Q 業績

米中貿易摩擦に主要カーメーカーの減産が重なり
大幅な減収減益

単位:百万円

	18/1Q (利益率)	19/1Q (利益率)	前年比	19年度 業績予想	進捗率
売上高	4,635	3,649	79%	18,000	20%
営業利益	322 (6.9%)	31 (0.8%)	10%	1,200 (6.7%)	3%
経常利益	318 (6.9%)	6 (0.2%)	2%	1,150 (6.4%)	1%
純利益	200 (4.3%)	27 (0.7%)	14%	830 (4.6%)	3%

◆為替(期中) 1\$=109円 110円

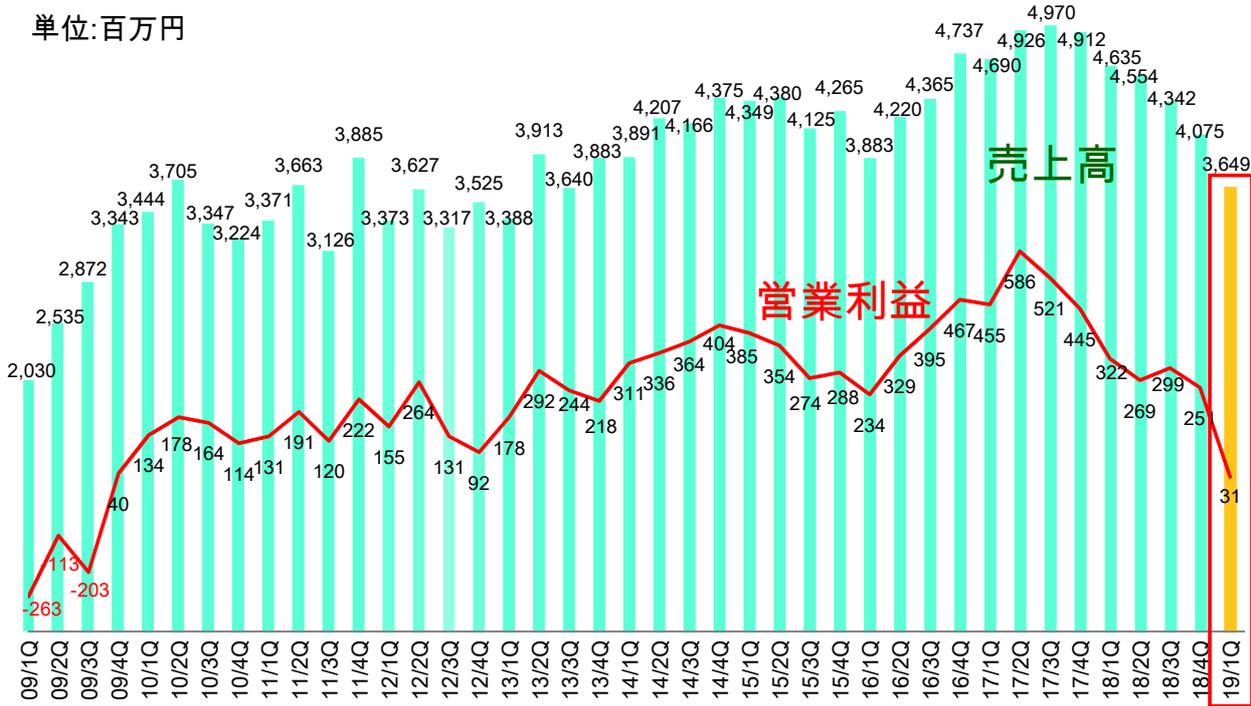
Value by Connecting **HTK**



2. 四半期業績推移

売上高が7年前(2012年度)の水準まで急落
尋常でない状況に対し、反転に向けた増販策をフル動員

単位:百万円

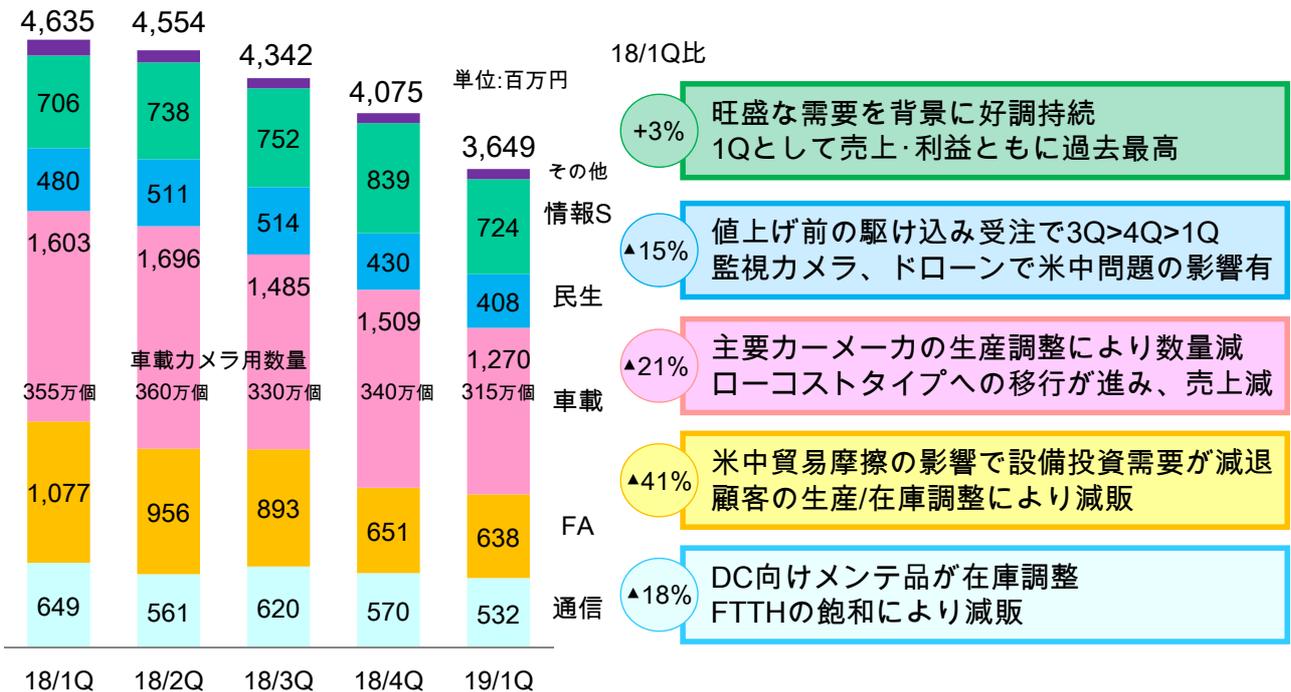


Value by Connecting HTK



3. 分野別の売上推移

コネクタ事業低調...FA分野が40%減収、車載分野も20%減収
情報システム事業が対前年で増収増益を継続

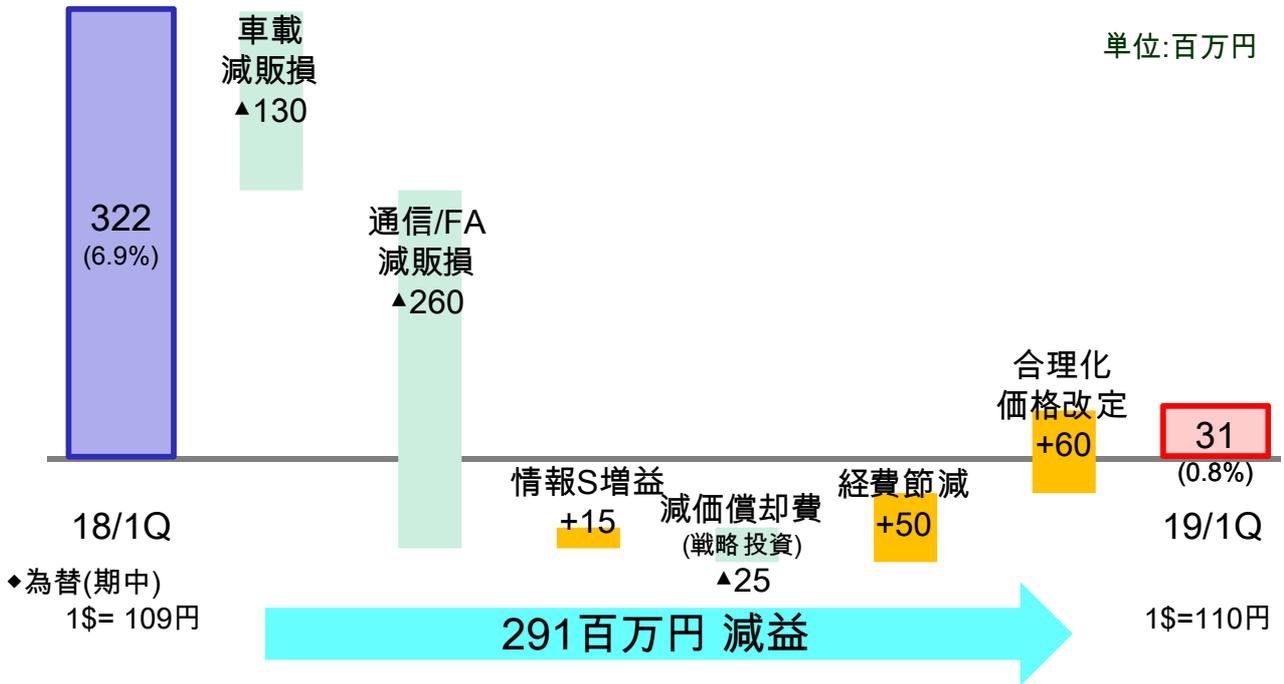


Value by Connecting HTK



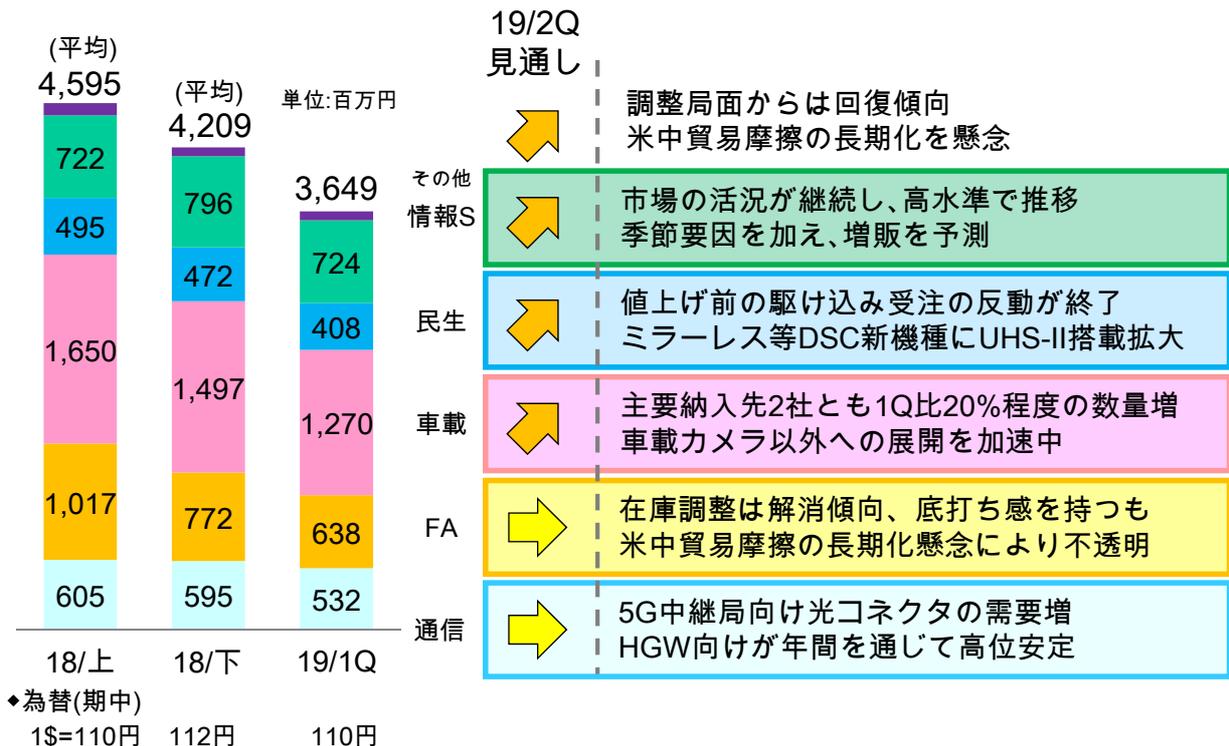
4. 営業利益分析(18/1Q比)

減販により大幅減益



5. 分野別の見通し

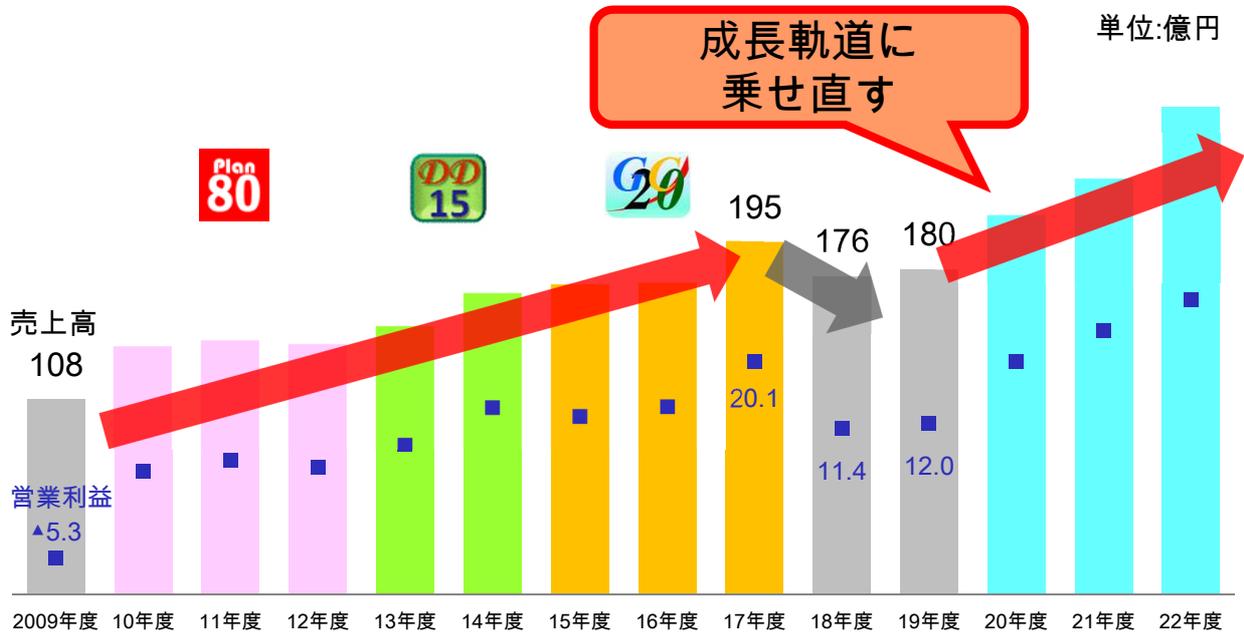
FA分野は不透明さが継続するも、車載を中心に回復傾向





6. 19年度の位置づけ

成長軌道に乗せ直す重要な転換点
根本課題に対策を打ち、改革・革新に取り組む



7. 再成長への取組み

ポートフォリオを充実させ、持続的成長を取り戻す

新設のGlobal市場開拓グループが
車載用コネクタ事業を多軸化

- 次世代車載カメラ用コネクタ量産開始
- 海外警察車両のモニタ接続 (20年:1億円)
- 電子ミラー etc. (6G/bps品に引合い多数)

自動車技術展
人とくまのテクノロジー展
2019 横浜・名古屋



堅牢SDカード用ソケット
Globalキャンペーンを展開

- 高機能DSCでのOnly1を強みに
PC・業務機器・ドローン等へ展開

UHS-II
累計500万個
突破



18→19年度
生産数量 1.5倍

情報システム事業
次世代ビジネスに拡がり

- AI外観検査、AI船舶識別
- RPA導入コンサル、開発支援
- ブロックチェーン基盤開発
⇒ 資格認定者の育成を一層強化

グローバル製造再編が
順調に進捗

- 新深圳工場が完成
順次移管を開始
- 国内販売品の日本回帰がほぼ完了
- ベトナム生産の立上げを推進中





参考.コネクタ事業 連結受注推移

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年度 前期比	+4	-	-	-	-
前年同期比	-20	-	-	-	
1\$=	110円				

2018年度 前期比	-3	-6	-8	-11	-17
前年同期比	-3	-18	-20	-25	
1\$=	109円	111円	113円	110円	111円

実勢為替レートで算出

Value by Connecting **HTK**



HTK

IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社
 経営企画グループ
 TEL : 03-6853-5820
 URL : <https://www.htk-jp.com/>

HTK 検索

Value by Connecting **HTK**